

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容
1	2	小	1~6	保健体育	④	持久走	男女が別チームで走るのではなく、混合で走り、男女の差を考えずに持久走を行った。
2	3	小	5	総合	①④	朝霧自然体験教室	男女が協力することの良さを生活班で味わい、互いを尊重する気持ちを育んだ。
3	4	小	4	総合	④	やさしさを広げよう	障害がある、無いにかかわらず、また男性、女性に関わらず、生きていく上では多大に支えたり支えてもらったりしていることを学習した。
4	4	小	4	保健体育	④	体の成長	男女の発育について学び、互いの体を尊重し合うこと、発育の時期がそれぞれ違うことも認め合うことを学んだ。
5	4	小	1	道徳		みんなじょうず	自分の良いところについて考え、自分や友達の良いところをすすんで見つけようとする心を育んだ。男女という枠にとらわれず、その人の良さを見ることの大切さを伝えた。
6	5	小	6	保健体育	④	球技等	(バスケット) 男女を均等に分け、一人ひとりの能力に合わせてチーム決めを行った。チームワークが向上し、技能の力もついてきた。
7	5	小	3	学級活動	④	互いの良さを認め合う	日常的に、互いの良さを男女関係なく認め合う活動を行っている。伝え合うことで子ども同時のつながりが生まれている。
8	7	小	5	学級活動	①	委員会の仕事	保健委員会は女子、体育委員会は男子…とかたまらないように、どの委員会も男女が協力してやっていくように考えさせた。学年で調整しどの委員会にも男女が入るようにした。
9	7	小	5	道徳	④	絵地図の思い出	男女仲良くすごしているかを振り返り、男女に関わりなく友達として接していくことの大切さについて学んだ。
10	8	小	3	保健体育	④	球技等	(プレルボール、ポートボール、タグラグビー) 男女混合チームでパス練習や作戦を立て、個人の技能に着目し、相手が受け取りやすいパス、自分がどのように動くのかなどについて考えさせ、チームワークの向上を図った。
11	9	小	2	生活	④	ひろがれわたし	男女関係なく、互いのよさをすごいなと思うところを紙に書き渡し合った。自己肯定感を高めるとともに、男女仲良く明るい学級作りにつなげた。
12	9	小	2	学級活動	①	班決め	班を決めるときに、男の子と女の子が一緒になるとどんないいことがあるのかを考えさせ、男の子と女の子が一緒になる良さを気付かせた。
13	9	小	2	生活	④	学校探検	1、2年生でグループを作るときに、男女関係なく作るようにした。男女が混合であることが当たり前という意識を低学年からもつことができた。
14	10	小	1~6	保健体育	④	球技等	男女混合のチームを作り、練習を行った。分け隔てないようにし、相手を考えたパスなどを考えた。チームワーク向上につながった。
15	10	小	6	総合	①	キャリア学習	「しゅふ」になりたいという児童の声を例にして、主婦も主夫も同じように大変であるということ学んだ。
16	10	小	3	学級活動	③	ネームプレートについて	ネームプレートの色分けをしていないのはどうしてか考えることを通して、色で分ける(性別によって)というのはしていないということ学んだ。
17	11	小	6	道徳	④	トランスジェンダー	様々な差別の中に性差別について知り、相互理解の必要性について話し合った。
18	12	小	1	保健体育	④	マット遊び	男女で同じチームを組み、教え合いをした。技のポイントの話し合いもした。→協力したことで思考が深まった。

実践の種類							①仕事や役割分担に係る実践	②職業や進路選択に係る実践	③色に係る実践	④協力に係る実践
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容			
19	12	小	6	学級活動	④		生活班や修学旅行など、男女混合の班を組むようにしている。			
20	13	小	5	外国語活動	④		どの単元でもペアで活動させたりするときには、必ず男女ペアを組むよう奨励してきた。現在は自然なかかわりができる。			
21	13	小	2	保健体育	④	体づくり運動	手をつないで大きな円を作るときにはできるだけ男女になるようにならんでみようと呼んでいる。クラスで男女へだてなく自然なかかわりができている。			
22	15	小	6	学級活動	①④	お楽しみ会	事前の役割決めの時、係の仕事を男女の違いではなく、個人の技能に着目して取り組むよう指導した。クラス遊びでは男女混合のチームを設定し、協力して競うことができるよう促した。			
23	15	小	3	保健体育	①	持久走	校内持久走大会では、男女の違いではなく個人の能力に着目してグループ分けをした。			
24	15	小	1	保健体育	④	球技等	(ドッジボール) 男女混合チームで練習を行い、男女の違いでなく、チームの仲間と協力して試合ができるようにした。			
25	15	小	2	保健体育	①	かけっこ	整列するときは男女混合の背の順で並んでいる。運動会の徒競走も持久走も男女の違いではなく、走力等でグループ分けをした。			
26	15	小	2	学級活動	①	学級の仕事をしよう	どの係も男女に関係なく係り分担を決め、分け隔てなく協力して仕事をするようにした。			
27	15	小	5	学級活動	④	友達の良いところをみつけよう	クラス全員の良いところ、がんばっているところを手紙のように書き合った。書かれたものを全員に渡し、1人1人の良さを認め合う学習を行った。			
28	16	小	5	保健体育	④	球技等	(タグラグビー) 男女混合チームでそれぞれの長所や運動の経験などをチームで伝え合う時間を設定し“男女”という視点で“この子”の特徴は…という視点で作戦を考えることができた。			
29	17	小	2	保健体育	④	リレー大会	男女混合チームでバトンパス練習を行い、みんなで協力する大切さや楽しさを学んだ。			
30	17	小	2	保健体育	④	長縄大会	男女混合チームで長縄練習を行い、励まし合いながら連続跳び、回数を目当てをもち取り組んだ。			
31	17	小	2	保健体育	④	球技等	(ドッジボール大会) 男女混合チームで作戦を考えたり、お互いの良さを伝え合いながら対戦できた。			
32	18	小	4	保健体育	①	大きくなってきたわたし	男性と女性の違いについて、家での役割や仕事に触れて話し合いをしました。			
33	20	小	4	学級活動	①	係決め・当番活動	男女で仕事内容や向き不向きがないことを学んで、自分のやりたい仕事やみんなのためになる仕事を考えた。			
34	21	小	5	保健体育	④	球技等	(タグラグビー) 男女混合チームで練習や試合を行い、協力すれば男女関係なくスポーツを楽しめることを学習した。			
35	21	小	5	国語	④	すいせんしよう(得意なことを紹介する)	男女隣どおしで座っている隣の子の「得意なことを先生となってもらい紹介する」という学習を組んだ。異性のよいところをみんなで認め合い理解を深めた。			
36	21	小	5	家庭	③	はじめてみようソーイング	エプロンの生布を選ぶときに、男子は青、女子は赤というような固定観念で決めるのではなく、自分の子のみの色のものを選ぶように説明して進めた。			
37	23	小	5	道徳	④	絵地図の思い出	資料を読んだ後、男女関係なくその子の良さを互いに見つけ合う活動をした。			
38	23	小	1	道徳	④	みんなじょうず。じぶんのいいところ。A個性の伸長	資料を読んだ後、自分の良さを発見するため、ペアでよいことを見つけをし、その後、班の中で交流し合い、互いの良さを見つけ合う活動をした。			

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会 番号	校 種	学 年	授業 内容	種類 ①②③④	題 材	実 践 内 容
39	24	小	6	保健 体育	④	球技等	(バルーンバレー) 意図的な男女混合チームを編成した。男女の違いでチーム内での役割を決めるのではなく、能力やその人の良さを上手に使うことが強くなるためのポイントになることを学習した。
40	25	小			③		防災頭巾の色を全員紺(来年度の1年生より)
41	25	小		保健 体育	④	体育	男女混合のチームにて行っている。(全校)
42	25	小			①	出席時に使うマ グネット	昨年度より、登校順にマグネット(名入り)をおくようにした。それまでは男子が上段、女子が下段だった。
43	26	小	3~4	保健 体育	④	球技等	(バルーンバレー) 男女混合チームで練習を行い、し合いに取り組んだ。個人の得意不得意でポジションを決めたり作戦をたてたりし、チームで協力する大切さを実感した。
44	27	小	1~ 3,6	保健 体育	①④	球技等	(サッカー、しっぽとりなど) 本校は全校児童が7人であり、常に他学年と関わり合いながら授業を行っている。人数も少ないため、男女は常に混合で平等な立場で授業を受けている。
45	27	中	1~3	保健 体育	①④	表現運動 (ダンス)	男子も女子も、混合で、自分たちで話し合っただけでダンスを行った。
46	28	中	3	社 会・ 公民	①	人権を尊重する 日本国憲法	日本における現状(男性は労働、女性は家庭)が平等権に反すること。あらゆる場面で考えて行くことが大切であることを学習した。
47	29	小	3~4	保健 体育	④	二次性徴	男女の違いと作られた違いについて考え話し合った。
48	29	小	5~6	学級 活動	①	人種差別	様々な差別が存在することをみつけ、性差における課題を考えた。
49	30	小	4	道徳	①	雨の停留所	登場人物が女の子(よし子)だったが、登場人物の気持ちの理解を高めるためにも、クラスの男の子もロールプレイングをした。
50	30	小	1~6	保健 体育	④	リレー大会	男女混合チームにし、バトンパスの向上について話し合ったり、思考したりして技能向上に努めた。
51	31	小	1~6	保健 体育	④	運動会	各種目のチーム分けを男女別にしない。団長を男女誰からでも選ぶ。
52	31	小	3	学級 活動	④	係決め・当番活 動	自分の得意なものを選ぶ。男子向き、女子向きを決めない。
53	31	小	1~6	学級 活動	③	クラス経営	ネームプレートを同じ色にする。
54	32	小	2	係活 動	①	係決め・当番活 動	男女だからと人数を割り振ることなく、児童の興味に基づいて役割を決め活動している。
55	32	小	1~6	特別 活動	④	なかよし班活動	ペアを男-男、女-女を気にして決めるのではなく、その子の人間性を考えて決める。
56	33	小	4	保健 体育	④	球技等	(ブラッグフット) 男女混合チームでゲームをした。作戦を立てるときに体格差や運動能力をふまえ、個々の役割を考えさせた。それぞれの良さを意識させた。
57	34	小	5	特別 活動	①	よりよい学校生 活	男女関係なく委員会を決定。「自分がその委員会でどんな活動を、どのようにし、学校をよりよくしていくのか」を重視した。
58	35	小	1~6	保健 体育	①④	球技等	(サッカー、ベースボール、バスケットボール) 男女、学年混合でチームを組み、パスやキャッチボールなど、全ての練習を合同で行った。高学年の児童が低学年の子に教えたり、経験者の男の子が上級生の女子に教えてあげたりするなど、チームワーク向上を目指した。

実践の種類							
①仕事や役割分担に係る実践				②職業や進路選択に係る実践		③色に係る実践	④協力に係る実践
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容
59	36	小	5	保健体育	④	球技等	(バスケットボール) 男女混合チームで試合を行い、個人差があるということは考えず、どのようにすればチームプレーが向上するか考えた。
60	37	小	1~6	保健体育	④	体育祭演技	男女混合で、自分のできる技と相手ができる技を組み合わせさせて演技した。演技も子どもが考え、その子の能力に応じて考えていた。
61	37	小	1~6	総合	①②④	福祉教育・地域教育	地域の産業(お茶など)を中心に地域学習を展開し、峰山地区の良さ、人の関わりを知った。高齢者との関わりの中で、自分がどう関わっていけばよいのか考えた。
62	39	小	1	保健体育	④	球技等	(ドッジボール) 男女混合チームでチームの中で会議を行い、作戦を立て行った。
63	40	小	5	家庭	①	やってみよう家庭の仕事	男女関係なく、家族の一員として役割分担することの大切さを共有した。まとめる時の主語を「お母さん」ではなく「家の人」という言葉にした。
64	40	小	6	学級活動	①	運動会	団長を選ぶとき、男女関係なく役割や意欲によって選出できるようにした。
65	40	小	6	総合	①	防災学習	力仕事だから男子、応急処置だから庶子という役割分担という考えではなく、「共助」という立場で物事をとらえ、役に立てる6年生になれるよう学んだ(県ジュニア防災士の認定をうけることができた)
66	41	小	4	保健体育	④	球技等	(ポートボール) 男女混合チームで練習を行い、男女の違いではなく、個人の技能に着目して互いに教えあいながらチームワークの向上を目指した。
67	44	小	4~6	学級活動	①	自分らしく生きよう	ファシリテーターズ静岡の方を招いて、家庭の中の役割分担や協力について、みんなで意見を出し合い学んだ。
68	45	小	1	学級活動	③	わたしがすきない色	自分が好きな色と、自分のランドセルの色に目を向け、色を選択するときの気持ちを考え合った。「男の子の色、女の子の色」があると思うかどうかをたずねたところ、意見が半数ずつに分かれたため、日常生活の中で使われている様々な色に着目できるようにし、性別と色には関係が無いことに気付く姿につながった。
69	47	小	1	生活	①	にこにこ大作戦(家の仕事を覚える)	家の人に、にこにこしてもらうため、家での仕事(ご飯のしたく、お風呂掃除、洗濯)を覚えて、家の人の助けになる活動をした。男女関係なく仕事を分担することが体験できた。
70	49	小	6	保健体育	④	球技等	男女混合チームでの協働
71	49	小	6	家庭	④	調理実習	男女混合での献立作り
72	51	小	6	総合	①②	見つめよう今の自分、みつめよう未来の自分	様々な職業を調べ、男女によって仕事が決まっているのではなく、それぞれの仕事の「やりがい」が大切だと学習した。
73	51	小	6	保健体育	④	球技等	(ハンドボール) 男女混合チームで練習を行い、男女の違いではなく個人の技能に合わせた練習を行い、それぞれに合わせた技術の向上をした。
74	51	小	3	学級活動	④	長縄練習	男女混合で長縄練習を行い、男女ともに息を合わせて縄をとぶことを通して、協力する大切さを味わった。
75	52	小	6	外国語活動	④	全単元	トークタイム(席を立ち、出会った人と英語でコミュニケーションを取る)の際、男女関係なく様々な人と話すように伝えた。自然に男女関係なく話す姿が見られている。
76	52	小	5	保健体育	④	長縄	長縄大会に向けて、クラスで団結し男女関係なく声かけやアドバイスをし、記録を伸ばそうと取り組むことができた。

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会 番号	校 種	学 年	授業 内容	種類 ①②③④	題 材	実 践 内 容
77	53	小	5	保健 体育	④	ゲーム	男女混合チームでゲームを行う
78	53	小	5	総合	①④	6年生ありがとうの会にむけて	男女混合、自分の力を発揮できる役割を選択し、協力して作業する。
79	54	小	5	道徳	④	絵地図の思い出	男女に関わりなく、協力して学び合い、互いに理解し合うことの大切さについて考えた。自分を振り返っての話し合いでは、男女で分かれてしまいがちな実態とその理由を出し合うことで協力の大切さに意識が向いた。その後の自然教室では、男女の隔てなく協力し合って楽しく活動することができた。
80	55	小	1	保健 体育	④	球技等	(ラインサッカー、ドッジボール) 男女混合チームで試合・練習を行った。男女の違いにとらわれず、パスや動き方などの作戦によってチーム力を上げることを目指して取り組ませた。
81	55	小	3	総合	①	地域の名人に学ぼう	そばについて育て方から食べるころまでを男女混合のグループでまとめ、劇などにして発表した。役割分担や話し合いにおいて、男女の違いに関係なく、個人の意見や特性を大切にしていって進めていった。
82	56	小	6	総合	①②	夢に向かって	市政出前講座でファシリテーターズ静岡の方を講師に招き、男女共同参画についての授業を行った。固定的性別役割分担意識が自分の中にすり込まれていたことについて、豊富な資料の読み取りを通して子ども自身が気付くことができた。
83	57	小	4	保健 体育	④	球技等	(ポートボール、タグラグビー) 男女混合チームとし、相手のことを考えて声をかけたり、パスを出したりすることでチームワークの向上を目指した。
84	58	小	1~6	特別 活動	④	ならび方	健康診断等特別な場合をのぞき、整列の方法に男女別はなく、性別、出席番号、班等で並んでいる。
85	58	小	3~6	特別 活動	①	学級委員	学級委員(各学級2名選出)については、男女各1名のしぼりがなく男子2名、又は女子2名が選出されることもある。(本年度は25%の学級で同性2名が選出された)
86	59	小	1~6	集会	③	いじめについて	好きな色、好きなアニメなど、男女の区別はなく、その子の好きなものを大切にしようと考え合った。
87	60	小	1	図工	③	カラー版画	版画の完成した作品を色画用紙に貼る際、複数の色を用意し、選ばせた。
88	60	小	1	保健 体育	④	球技等	(サッカー) 男女混合チームでの練習・試合を行い、子どもたちも男女の違いを付けずチームワークを発揮することができた。
89	60	小	1	学級 活動	①	係決め・当番活動	係決めの際、音楽、花といった女子に人気のありそうな仕事も子どもたちに自由に選ばせたので、その子の材適所で進んで仕事ができるようになった。
90	62	小	5	保健 体育	④	球技等	(ソフトバレー) 男女混合チームでパス練習や試合を行い、男女の違いではなく個人の技能に着目して、相手が受け取りやすいパスや点を入れるための工夫を考えさせ、チームワークの向上を目指した。
91	62	小	5	総合	③	龍勢	草薙龍勢に参加する際、Tシャツを購入した。男女で色をわけるのではなく、同じシャツを選択した。※学習したことではありませんが…
92	63	小	5	家庭	④	やってみよう家庭の仕事	家族の、家事を誰がどのようにしているのかを調べた。母や祖母に偏っている現実があるとともに、父も料理や家事をしている例を取り上げた。男女関係なくできる仕事を見つけて取り組んでいった。男子も女子も同じように家事ができると将来に役立つことを学んだ。

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容
93	65	小	4	総合	④	誰もが関わり合える社会に	地域の人たち（一年間お世話になった方々）に喜んでもらうため、全6幕の劇「ごんぎつね」を体育館ステージで公演した。8～9人の男女混合で練習から準備、公演までを協力して成し遂げた。
94	66	小	4	保健体育	④	思春期の体や心の変化	体や心の変化は誰にでも起きることであり、個人差があるからお互い尊重し合って生活していくことを話し合った。
95	67	小	5	理科	②	メダカのたんじょう、人のたんじょう	受精の授業で、「メダカのお父さんとお母さんってこと？」という子どもの意見に、「オスとメスだけど、お父さんお母さんかは分からないよ。」とこたえた。「ひとのたんじょう」で妊娠・出産の際に母胎に負担がかかること、出産後も体がもどるまでには時間がかかることを男女ともにわかるように説明した。
96	67	小	4	学級活動	③	席替え	班ごとの人数を○印で子どもたちに知らせる際、男子を赤丸、女子を青丸で示した。子どもたちから「えー」という反応。T「どうして？男子だって赤色が好きな子もいるし、女子も青色が好きな子もいるよ」
97	67	小	5	朝の会	②	先生の話	TV史上初めて男の子のプリキュアが誕生した話から、絵本やアニメなどの隠されたメッセージについて触れた。 （女は男に守られる存在→女と男は対等な存在として描かれている）性別については多様な考え方があり、自分の考えとは違っても、それを認めてあげられる人になってほしいという話をした。
98	67	小	6	社会・公民		戦後	「選挙権が20歳以上の男女」になり女性の権利が広がったという学習の後、ニュースを見た子が「じゃあなぜ日本は男女平等の順位は低い？」（ジェンダーギャップ指数のこと）という疑問を持ったことがきっかけになり、今の日本社会における男女共同参画についてクラスで考えた。
99	68	小	1～2	保健体育	①④	持久走	男女別で行っていた記録会を男女混合タイム順にした。
100	69	小	1	生活	④	あきをたのしもう	秋の宝物を使っておもちゃを作るときに、男女関係なく自分の作りたいおもちゃを選び、グループ編成をした。
101	69	小	4	総合	②④	福祉について考えよう	アイマスク体験や車いす体験を男女混合のペアを組むなどして、男女関係なく誰でも声をかけることをできるようにした。
102	69	小	2	生活	④	おもちゃランドを作ろう	男女混合のグループにした。遊び活動の内容も男女の違いを意識せず取り組んでいる。
103	69	小	5	道徳	①④	自分の窓	友達の良さががんばりをお互いに伝え合う活動を行う際に、男女関係なく意見交換を行い、良さを認め合う活動を行うことができた。
104	69	小	1～6	日常生活指導	①④	朝の会生活調べ	男女関係なく手をつないだり、あいさつを交わす場面の設定。男女学年関係なくペアを組んで身だしなみ、整頓チェックを行っている。
105	69	小	3	保健体育	①	〇〇大会にむけて	男女混合で持久走大会、個人層、体育の授業では男女関係なくチーム決め。席替えも男女関係なくグループを作った。
106	70	小	5	保健体育	④	球技等	（ソフトバレー）男女混合チームにし、パス、サーブなどの練習、ゲームを行った。男女関係なく声を掛け合ってパスをしたり、個人の技能を考えてポジションを考えたりさせ、チームワークの向上と競技を楽しむ態度の育成をめざした。

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容
107	74	小	5	保健体育	④	球技等	(バスケットボール) 男女混合チームをつくり、お互いに協力しあって技能を高め合うことができた。男女関係なく教え合い、チームで作戦を立てることができた。
108	76	小	1~6	保健体育	④	球技等	(ドッジボールラリー) 男女混合チームでパス練習をし、男女問わず技能向上につとめた。
109	76	小	2	学級活動	①	係決め・当番活動	「男だから体育係」「男の子は食器」「女の子は音楽係」と決めつけるのではなく、やりたい係、女の子も男の子も力はあるので協力していくことを学習した。
110	82	小	1~2	学級活動	①④	係決め・当番活動	男女の別なく、混合で活動し、全員で協力して動く意識を育てた。
111	82	小	3~4	総合	①④	朝霧自然体験教室	男女の意識無く、2学年混合で班や係を決めた。また、各自の性別ではなく、得意なことやがんばりたいことを中心にして役割を考えた。
112	82	小	5~6	家庭	①②④	朝ご飯を作ろう	男女の区別をせず、共に料理の学習に取り組んだ。性別によるのではなく、家族の一員として家事を行う意識が大切であることを学んだ。
113	83	小	4	総合	②	1 / 2 成人式 (キャリア教育)	1 / 2 成人式で将来の夢を参観日に発表させた。女の子も獣医さんや警察官など男女差なく職業を考えそれに向けて努力する大切さを指導した。
114	83	小	5	家庭	①④	家庭の仕事。家族でホッとタイム	家族の仕事の役割の多さや助けあう大切さを指導した。交わりの中で家事を性差なく分担し合う大切さ、尊重し合うことの重要さを考えさせた。
115	83	小	6	保健体育	④	球技等	(サッカー、バスケ) 男女混合チームで練習をし、性差の偏りのないパス回しの仕方、技能に着目して取りやすいパスワークをして、チームの向上を目指した。
116	84	小	1	生活	①②④	にこにこ大作戦	家の仕事について調べ、自分にできることを考えた。男女による役割分担をするのではなく、「自分にできる手伝い」ができるよう促した。
117	84	小	5	総合	④	もっとしあわせなまち	お年寄り、幼児との関わり、子育て支援施設訪問等を通して、どのような立場の人とも「同じ人間」としてどう関わっていけば良いのかを考えた。
118	84	小	6	社会・公民	①②③④	わたしたちの生活と憲法	男女雇用機会均等法を取り上げ、それが生まれた背景、そして現状について話し合った。
119	85	小	2	特別活動	①	トイレ掃除	男女どちらのトイレもお互い協力して行った。
120	85	小	1	生活	①	秋と遊ぼう	ブローチを作りたい男の子が作り方を調べ、男女関係なく教えることができた。
121	85	小	1~2	図工	③	絵を描こう	台紙に貼る際、男女どの色でもいいよと声をかけた。
122	86	小	3~4	保健体育	④	球技等	(プレルボール) 男女混合チームで毎回チームを変えてゲームを行い、相手に合わせてパスをすることを意識させた。(全員にパスが回ったら相手に返すルール)
123	86	小	1~6	学級活動	①④	係決め・当番活動	男女による仕事分担をせず、クラスに必要なと思う仕事を自分たちで見つけ、係活動に取り組ませた。
124	88	中	3	外国語活動	①	会話練習	Yuki (女) と Mike (男) であっても性別にこだわらずにペアを組み、会話練習を行った。
125	89	中	1~3	保健体育	③	球技等	授業内でビブスを身に付ける機会がある。青、赤、ピンク、オレンジ等がある中、誰がどの色を着てもいいように声かけをし、色に対する偏見を持たせないようにしている。
126	90	中	2~3	保健体育	①④	球技等	(サッカー、バスケ) 選択性の授業で、準備・片付けを協力して行ったり、アドバイスし合ったりした。

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容
127	90	中	2	総合	①②	職場体験の事後学習	男女の役割、働き方についてまとめ、新聞にした。
128	91	中	3	理科	②	科学と放射線。キュリー夫妻	夫妻でノーベル賞を受賞したキュリー夫妻のビデオを見て、今までの科学者のイメージとは異なるキュリー夫人とそれを支えるピエール＝キュリー（夫）の姿について意見や考えを話し合う。
129	92	中	1	保健体育	④	ダンス（創作ダンス・フォークダンス）	フォークダンスを通して、男女で行きを合わせる事や性別、差別などの歴史とダンスの意義を合わせて平等性を意識した授業を行った。
130	92	中	3	道徳	④	光村体育祭実行委員（男女で協力する）	男女の体育再実行委員が、自分の責任を自覚し、誠実に行動すべきだと思いつつ、同時に苦手なことや面倒なことを避けようとする弱い心を乗り越えていこうとお互いに協力する姿を資料から学んだ。
131	93	中	1	保健体育	①④	球技等	（Tボール）男女混合チームで、協力して練習を行い、作戦を立てて試合をすることでチームワークの向上を目指した。
132	93	中	1	総合	①	職場体験	職業調べや職業講話を学習する中で職業観を見つけ、どの仕事も社会を形成する上で大切であることを学習した。
133	95	中	3	外国語活動	①②	Program9 Education First Malala's Story	マララのお話を読むことを通して、職業選択の中の男女の差別について話し合った。
134	96	中	3	社会・公民	①	平等権	（男女の平等）共働き夫婦の「転勤」「子育て」についていくつかのケースを考える中で、男女の職業観や役割分担について人々の意識と法律との間に差があることを体感した。
135	98	中	3	道徳	①	ジェンダー	性別によって困ることをあげていき、自分と同じではない他社への理解を深めていき。
136	100	中	1～3	保健体育	④	校内駅伝大会	男女混合の縦割り班退行で1本のたすきをつなぐ駅伝大会を行った。男女や学年関係なくチームとして励ましあうことの大切さを学んだ。
137	101	中	1	保健体育	④	球技等	（テニス、卓球）特性に合わせてネット競技を一緒に行った。
138	101	中		保健体育	④	性の講話	LGBTの生徒がいるため、男女共通の講話を行い、性差は個性差であることを理解させた。
139	102	中	1	技術	①②	技術分野「ガイダンス」	3年間の学び方や学習の見通しを知らせる中で、以前は古い価値観による性役割から「技術分野＝男子向き、家庭分野＝女性向き」と明記されて、男女別修をしていたが、現在（平成元年から）では、職業や社会、家庭での役割に性差はないということから、男女とも同一の内容を共修していることを理解した。
140	103	中	2	道徳	①	ちがうのちがいを	あつていいちがいとあつてはならないちがいを考えさせる中で、無意識のうちに根付いている男女差別に気づき、考えることができた。
141	104	中	2	国語	①②	ディベート	「女性は結婚して子どもが生まれても仕事を続けるべきか、そうでないか」についてディベートを行った。
142	104	中	1～3	保健体育	④	球技等	男女共修にすることで、性差があることにより課題が多く出て、学習を深めていくことができた。
143	105	中	1	家庭	①	調理実習	男女の違いではなく、得意な生徒が実習をリードし、作業分担して行った。家事は女性が…ということではなく、個々の技能を重視した。

実践の種類 ①仕事や役割分担に係る実践 ②職業や進路選択に係る実践 ③色に係る実践 ④協力に係る実践							
No	分会番号	校種	学年	授業内容	種類 ①②③④	題材	実践内容
144	105	中	1	学級活動	④	より学級がまとまるために	男女が互いに気になること、よいと思っていることを伝え合った。本音を出し合うことで、それぞれの良さを認め合い、課題を確認し合って、行事に向けて全員で同じ目的を持ち、努力していくことを確認できた。
145	113	中	3	社会・公民	①	平等権	憲法に規定されている平等権にかかる法律の一例として、男女共同参画社会基本法を挙げ内容を理解した。
146	114	中	2	社会・公民	①	男女共同参画	仕事によって男女で平等でないことがありそうだという気づきから、男女は平等であるべきか、ということについて話し合った。授業後、男女も含め、人を差別しないことが大切であるという意見や、自分が働くときは家事も自分から取り組みたいという意見が聞けました。
147	117	中	3	外国語活動	①	Program9 Education First Malala's Story	女子の教育機会均等について活動するマララさんの人生に関する英文読解を通して、男女の違いが原因となっているグローバルな課題について考える機会を持った。
148	118	中	2	総合	②	職業と性別	女性の消防士、男性の保育士の話を読み、性別によって限定されがちであった職業についての考えを見直した。
149	119	中	2	国語	④	いろいろな文体、付属語、助詞	いわゆる男言葉、女言葉について、言葉における性差について考えを出し合った。男女平等だからといって女性の乱暴な物言いを容認すべきだということではなく、TPOに応じて伝える相手と目的に応じて適切な表現・感じのよい表現を選ぶことに男女の区別はないということを学んだ。
150	121	中	3	社会・公民	①	平等権	男女の雇用の状況を考えさせることで共同参画社会の重要性を考えさせた。
151	122	中	1~3	保健体育	④		小規模校であることなどから保健体育は男女合同で行っている。球技のチームも男女混合チームを作っている。
152	122	中	1~2	音楽	④	合唱	女子がソプラノ、男子がテノールと分けるのではなく、無理のない発声ができるパートを選んで歌っている。(男子は変声期が終わるとテノールへ移行していく)
153	122	中	1~3	行事	④	体育祭	応援団は男女問わず募り、団員の役割も相談して決めている。
154	124	中	3	音楽	④	混声四部合唱	パート構成の際、自分の音域、出しやすさに基づいて、男子生徒がソプラノを担当し、本人も周りもより良い歌作りに取り組んでいる。人数の少ないアルトパートを支えるために別の男子生徒もテノールから加入し、ハーモニー作りに励んでいる。
155	124	中	2	家庭	①	幼児交流学習(こども園訪問)	幼児と関わる遊びを考えて行く際、男の子だから女の子だからと遊びを性別で限定することがないように、両性楽しめるもの、性別に関わらず楽しめるものを考えるよう提案した。また、折り紙などを行う際、色を性別で限定することのないようにも指導した。